

令和4年度 年間授業計画

都立田無工業高等学校

教科・科目		地理歴史 日本史A		単位数	2
対象学年・組		3学年全クラス	教科担任	MA:木村 MB:細野 AA:細野 AB:今井 CA:今井	
教科書・副教材		高等学校 改訂版 日本史A 人・くらし・未来 なし			
1. 目標					
近現代史を中心とする日本の歴史を、世界の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって歴史的思考力を培い、国際社会のなかで民主的・平和的な国家、社会を形成していくための自覚と資質を養う。					
2. 学習内容と学習上の留意点					
学期	月	単 元	指導内容・指導目標		予定時数
1 学 期	4	近代日本の形成と18世紀の社会	明治政府の諸政策を伝えることで、国際社会に投げ出された日本の状況、その中で状況を打開するため近代国形成に努めた明治人の苦悩と奮闘に思いを至せるよう留意する。		6
	5	近代日本の形成と19世紀の社会	明治政府の諸政策を伝えることで、国際社会に投げ出された日本の状況、その中で状況を打開するため近代国形成に努めた明治人の苦悩と奮闘に思いを至せるよう留意する。		6
	6	近代日本の形成と19世紀の社会	明治政府の諸政策を伝えることで、国際社会に投げ出された日本の状況、その中で状況を打開するため近代国形成に努めた明治人の苦悩と奮闘に思いを至せるよう留意する。		8
	7	近代日本あゆみと国際関係	明治政府の諸政策を伝えることで、国際社会に投げ出された日本の状況、その中で状況を打開するため近代国形成に努めた明治人の苦悩と奮闘に思いを至せるよう留意する。		4
	1学期授業時数計				24
2 学 期	9	近代日本あゆみと国際関係	近代化に邁進した明治日本が、国益および安全保障面で抱えた問題をどのように解決しようとしたかを理解させることに留意する。		8
	10	近代日本あゆみと国際関係	アジアで唯一近代化に成功し、列強入りを果たした日本がさらにどのような歩みをたどったか、日英同盟締結・日露戦争・韓国併合などを通じて理解させることに留意する。		8
	11	近代日本あゆみと国際関係	大正デモクラシー、政党政治の展開などを通し、大衆文化や大衆の政治意識、当時の日本の社会状況などを理解させることに留意する。		7
	12	近代日本あゆみと国際関係	敗戦に至った経緯や要因を理解させる。世界恐慌の影響と日本をとった打開策、中国米国との戦争に至った経緯を、日本の立場、事情も充分斟酌して理解できるよう留意する。		7
	2学期授業時数計				30
3 学 期	1	第2次世界大戦後の日本と世界	戦後の日本の歩みを伝えることで、誇るべき点だけでなく、課題や問題点にも気づけるよう留意する。		6
	2				0
	3				0
	3学期授業時数計				6
年間授業時数合計					60
3. 評価の観点・方法					
・定期考査の得点で学習の理解度を評価する。					
・授業態度、プリントやノートなど提出物について、授業の取り組みを評価する。					
・1、2学期は学習内容の理解度を7割、授業の取り組みを3割で成績をつける。					
・学年末は1、2学期の成績を踏まえて、総合的に4割以上で単位修得を認める。					
・学年末は1、2学期の成績を踏まえて、総合的に3割以上で単位修得を認める。					